



こんにちは。

トリプルアイズの光石です。いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「検温や勤怠だけじゃない！ 顔認証 AI を用いた新たなサービスを一挙ご紹介」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「運転日報入力が可能に！アルコール検知アプリに新機能搭載」「AI モデル構築ミッションクリアで奨学金返済サポート」「Japan IT Week 春 AI・業務自動化展に出展」についてご紹介いたします。

さらに IT 批評では、「近日公開！東京大学 先端科学技術研究センター 吉村有司氏に聞く」についてご紹介します。どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 「検温や勤怠だけじゃない！ 顔認証 AI を用いた新たなサービスを一挙ご紹介」
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

1. 「検温や勤怠だけじゃない！ 顔認証 AI を用いた新たなサービスを一挙ご紹介」

AIスマートスタート さまざまなシステムと連携 PoCからAIシステムへ

カウンターセンサー 非接触検温機 ドーム型カメラ検温機 アルコール検知器 既存カメラのAI化 検温/入退館ゲート スマートロック 顔認証決済 顔ポイントシステム AI顔認証による周遊ルート分析

顔認証によるポイントサービス 地域先進モビリティシステム 人流測定

これまでのメールマガジンでも当社の顔認証 AI「AIZE」サービスのご紹介をしております。

顔認証による勤怠システムや自動検温システム、アルコール検知システム、マーケティングシステムは頻繁に登場していたかと思うので、今回はそれ以外のラインナップをご紹介します。

・顔認証ログプリンター「AIZE Printer」

非接触自動検温機とプリンターが一体となったもので、顔写真と体温を、その場でラベル印刷します。病院や介護施設、イベント会場、宿泊施設などにご利用いただいています。

・人流測定カメラ「AIZE Counter」

天井に設置したカメラで人数をカウントします。同一人物を重複カウントせずに、特定したエリア内での滞在時間・人数データの把握が可能です。イベント会場や観光施設などにご利用いただいています。

・顔認証自動検温ゲート「AIZE Gate」

顔認証でゲート開閉と同時に検温も実施します。受付業務の工数を削減、入退出管理をクラウドで行えます。フィリピンの製造工場や国内の会員制レンタルスペースなどでご活用いただいております。

・顔認証スマートロック「AIZE Door」

顔認証により、キーレス、カードレスでドアの解錠が可能です。解錠記録・入退出記録をクラウド保存します。カバンからなかなかカードキーが出てこない時や両手に荷物を持っている時に、「顔で開けられたらなあ」と思ったことはありませんか？ 快適・便利で安全性が確保できる顔認証スマートロックはこれからの常識になりそうですね。

当社の顔認証 AI「AIZE」は**拡張性**に優れ、**他のシステムとも連携**でき、お客様のニーズに合わせて**カスタマイズ**が可能です。

さまざまな業界でさまざまな活用が進んでいる AIZE の詳しい説明や具体的な導入事例はこちらのサイトをぜひご覧ください。<https://aize.jp/>

2. トリプルニュース

「運転日報入力が可能に！アルコール検知アプリに新機能搭載」



2023年1月13日、トリプルアイズは、アルコール検知AIクラウドシステム「AIZE Breath」に**運転日報入力機能を搭載**いたしました。

この機能はAIZE Breathをご導入いただいたいくつかのお客様からご要望があり、追加したものです。

今回の運転日報入力機能の追加により、スマホでAIZE Breathのアプリを立ち上げると「**出発地**」「**本日の行先**」「**走行距離計**」「**給油の有無**」をその場で入力することができるようになりました。

これまで、アルコールチェックの結果は検査時間と共に自動でクラウドに送られ、管理画面に反映されていましたが、運転日報は運転前後に手書きかエクセルでの入力が必要でした。

これからは、**運転に付随するすべての情報をデジタルで一元化**できるようになりました。ますます業務効率化が進んだといえます。

運転日報機能はオプションサービスになります。ご興味のある方はお問い合わせください。

<https://aizebreath.jp/>

「AIモデル構築ミッションクリアで奨学金返済サポートキャンペーン」



トリプルアイズでは、2022年12月より、**奨学金の返済を支援する採用キャンペーン**を開始しています。

エントリー後に送られてくる**AIミッションをクリア**し、選考ステップを経て入社した方を対象に、**奨学金の返済をサポート**するというものです。

日本学生支援機構の奨学金利用者における平均の借入総額は324万3,000円。毎月の返済額は平均1万6,880円で、返済期間は平均14.7年だそうです。

(参考：奨学金や教育費負担に関するアンケート調査 調査結果の要約 <http://www.rofuku.net/CMS/wp-content/uploads/2019/03/b91ff18c02e840ae68b0adeec67790c8.pdf>)

エンジニアとしてのキャリアを後押しするのはもちろんのこと、経済的な負担を軽減し、安心して仕事に取り組んでもらいたいという思いが込められたキャンペーンです。

キャンペーンページ <https://www.3-ize.jp/recruit/pdf/scholarship.pdf>

トリプルアイズ採用サイト <https://www.3-ize.jp/recruit/>

「Japan IT Week 春 AI・業務自動化展に出展します」

Japan IT Week

春

2023年4月5日（水）から7日（金）までの3日間、東京ビッグサイトで開催される「Japan IT Week 春 AI・業務自動化展」にトリプルアイズも出展します。

AIやRPA、チャットボットなど、業務を自動化するソリューションが一堂に出展する専門展です。

当日ご紹介する製品やサービス、時間などの詳細については、また改めてご案内いたしますので、ぜひブースにお立ち寄りください！

3. IT 批評

【近日公開！】

東京大学 先端科学技術研究センター 吉村 有司氏に聞く

- (1) ビッグデータ活用で実現する市民参加型のまちづくり
- (2) 都市づくりに新たな視点「アーバン・サイエンス」の可能性



<https://it-hiyou.com/>

みなさん**アーバンサイエンス**という言葉をご存じですか？

これまで専門家の経験則や直感によりなされてきた都市計画やまちづくりの分野に、AI を活用しデータサイエンスの立場からアプローチする方法です。

アーバンサイエンスの第一人者である吉村有司氏にお話を伺いました。

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。明日から二十四節気の「大寒」。一年で一番寒さが厳しくなる時節というだけあって、外気が肌に凍めますね。

さて、ニュースでも触れていますが、今春の展示会にむけてチームで着々と準備が進んでいます。「おっ！」と皆様の目に留まるようなブース展開を企画していますのでどうぞご期待ください！

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに。
